

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 令和4年度（2022年度）河川工作物AP会議の開催状況

第1回会議（令和4年7月26日（火）～7月27日（水）羅臼町・斜里町）

7月26日（火）

・現地検討（羅臼川）

5号床止工の状況と対応、オショロコマ長期モニタリング調査方法について、現地検討を実施。

・室内会議（羅臼町）

世界遺産委員会決議の対応、長期モニタリング計画、サシルイ川、ルシャ川、オッカバケ川のダムの改良、ルシャ川河床路、羅臼川、イワウベツ川の状況等について議論を実施。

7月27日（水）

・現地検討（ルシャ川）

河床路の状況、治山ダムの改良、サケ類長期モニタリング調査方法について、現地検討を実施。

2 第44回世界遺産委員会決議への対応について

世界遺産委員会において決議された知床の保全状況にかかる決議事項7のa), b), c)の勧告について、保全状況の報告内容を整理した。

3 長期モニタリングについて

第2期長期モニタリング計画・モニタリング項目及び評価基準等一覧（案）の河川に関わるモニタリング評価について検討を行い、評価基準、モニタリング手法について整理した。

4 河川工作物について

(1) サシルイ川ダム改良

昨年度第2回AP会議で了解された魚道の改良について、今年度の冬に実施する石組み魚道の工事概要と工程について確認した。

(2) ルシャ川ダム改良

令和元年度に着手したダムの改良工事について、工事の進捗状況及び来年度の実施計画について説明。また、来年度以降に施工する箇所における落差の解消方法について議論し、現地の確認により工事工程等の検討を行った。

(3) オッカバケ川ダム改良

令和2年度に完了した2号ダムの改良後の状況と令和4年1月及び6月に開催した地元住民及び漁業者説明会の結果を報告。今後の2号ダム改良の状況とHyperKANAKOによるシミュレーションの有効性を確認し1号ダムの改良方法を決定することを確認した。

(4) ルシャ川河床路の状況

昨年度からの河床路の流出・改良の経過について説明。今後も河床路の耐久性、走行性、魚類の遡上環境についてモニタリングすることを説明。また、現在の状況を現地にて確認した。

(5) 羅臼川の状況

5号床止工から下流における河床高の復元と魚類の遡上障害の改善の取り組みについて報告。また、現地の状況を確認し河床の安定化に向けた工法の検討を行った。

(6) イワウベツ川での河川環境の改善

しれとこ100平方メートル運動における盤ノ川橋脚下落差工への簡易魚道設置について、進捗状況を報告した。

5 今後の予定

第2回河川工作物アドバイザー会議を令和4年1月下旬から2月上旬に札幌市で開催する予定。